

## 第 41 回熊本県臨床細胞学会 スライドカンファレンス

### 《症例 1》

【患者】70 歳代 女性

【現病歴】関節リウマチ（MTX 内服は 3 年前に終了）、頸部リンパ節腫脹  
1 年 8 ヶ月前に左頸部リンパ節腫脹を認め生検したが悪性リンパ腫の確定には至らなかった。今回、頸部リンパ節の増大傾向を認めたため、左頸部リンパ節より穿刺吸引細胞診を施行。

### 《症例 2》

【患者】70 歳代 男性

【採取部位】右肺下葉

【採取法】穿刺吸引

【喫煙歴】current smoker 20 本/日×43 年（20 歳～）

【既往歴】肺気腫、腹部大動脈瘤、高血圧症

【現病歴】2021 年に腹部大動脈瘤を指摘され、前医で 1 年毎に CT で経過観察中であった。  
2025 年に以前から指摘されていた右下葉の病変の増大が認められた。悪性が疑われ、精査加療目的に当院紹介となった。

【検体】右肺下葉 穿刺吸引細胞診

### 【回答フォーム】

URL: <https://forms.gle/x8PovDYiBFkLuG5y6>



回答期限：2026.2.7(土)